

特集「小原義也とCAT」

市制施行70周年記念

令和6年度

相模原市収蔵美術品展

2025年3月1日 [土]

— 3月23日 [日]

開館時間=10:00-18:00 / 休館日=水曜日 / 観覧料=無料

新収蔵 成田禎介作品

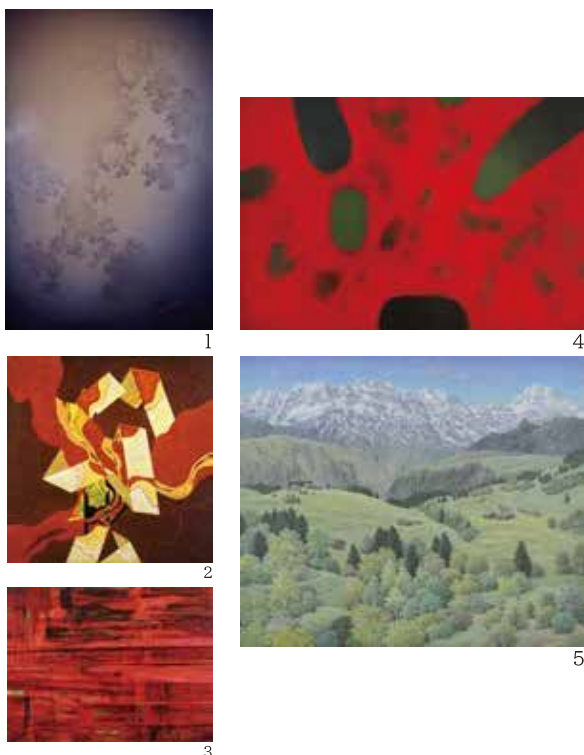
相模原市民ギャラリー
SAGAMIHARA CITIZEN'S ART GALLERY

特集「小原義也とCAT」

本市収蔵美術品の中から、昨年逝去した小原義也の作品と、小原が中心となって立ち上げ、本市を拠点に現代美術の振興に努めたグループ「CAT (Contemporary Art Trial)」のメンバーによる作品を、小原がアトリエに残した作品とともに展示します。

1935年に高知県で生まれた小原は、1955年に上京。その後、相模原に居を構え、モダンアート協会の展覧会や読売アンデパンダン展への出品、国際青年美術家展への入選やシェル美術賞展での受賞を果たし、気鋭の画家として注目を集めました。自己と向き合い続けながら描かれた小原の抽象画は、時代ごとに様々なスタイルに挑戦しながらも時を経てそれらが往還し、やがて自己を超えた普遍的な生命や魂の形を模索するようになっていきました。

また、中央画壇と距離をとっていた小原は、独自で現代美術の普及活動を展開しました。先述のCATでは、劇場空間での展示や様々なシンポジウムを開催したほか、故郷の高知では、子どもを対象とした絵画指導や公立美術館での展示のコーディネートを行うなど、制作のみに留まらない活躍をみせました。本展では、そうした小原の作品の変遷の一部と、本市で共に現代美術の普及に携わったCATのメンバーたちの作品をご覧ください。



新収蔵 成田禎介作品

本年度に寄贈を受けた市内在住の画家・成田禎介の作品を公開します。

全国規模の美術団体である日展の特別会員や示現会の理事長のほか、本市の芸術家によって構成される相模原芸術家協会の会長を務める成田は、一貫して鋭敏な色彩感覚による緻密な風景画を手がけてきました。

本市が既に所蔵している成田の作品に加わる形で今回寄贈された作品は、最初期のものから近年の成田を代表する雄大な山々や豊かで複雑な緑が印象的なものまでの全5点となります。

自然の中に宿る美しさをすくい上げ続ける画家の作品をお楽しみください。

表上=小原義也《WORK.96-No.5》(部分) / 表下=成田禎介《燈台の島》(部分)
1=大貫博《宙》 / 2=横田瑛子《生のテーマ「エンドレス」》 / 3=菅沼稔《Paraphrase・9》 / 4=小原義也《Work-2016-No.5 (I)》 / 5=成田禎介《アルプの高原》

関連イベント

当館スタッフによるギャラリートーク

1=成田禎介の作品について | 3月9日(日) 14:00~14:30

2=小原義也とCATについて | 3月15日(土) 14:00~14:30

いずれも申し込み不要。直接会場までお越しください。

開催情報

主催=相模原市 / 協力=セレオ相模原 / 会場=相模原市民ギャラリー-展示室

開館時間=10:00~18:00 (最終入場は17:50まで) / 休館日=水曜日

／観覧料=無料

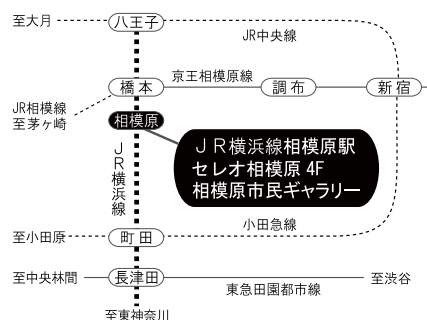
お問い合わせ

電話=042-776-1262

E-mail=gallery@city.sagamihara.kanagawa.jp



アクセス=JR 横浜線相模原駅下車すぐ。



住所=相模原市中央区相模原 1-1-3
セレオ相模原4階